



令和元年10月15日

救急機動部隊を拡充します

平成28年6月17日に創設された救急機動部隊は、年々増加傾向にある都内の救急需要対策の一環として運用され、昼間は東京駅、夜間は新宿駅近くの待機場所へと救急要請が多いエリアを移動することで、それぞれのエリア周辺における救急車到着までの時間短縮に寄与しています。

このたび、セーフシティ「安全安心な東京」をより一層推し進めるため、部隊及び運用エリアを拡充いたします。

1 運用開始日

令和元年10月16日（水）より

2 隊の主な特徴

- (1) 救急要請が多いエリアへ待機場所を移動することで、救急車の到着時間を効果的に短縮
- (2) 待機場所に救急隊2隊が待機することで、1隊が出動した場合も2隊目がすぐに出場できる体制を確保
- (3) 外国人対応や、感染症などの特異な救急事案への対応力を強化

3 拡充の概要

別添えのとおり

4 運用開始式について

令和元年10月15日（火）東京消防庁本部庁舎にて運用開始式を実施いたしました。

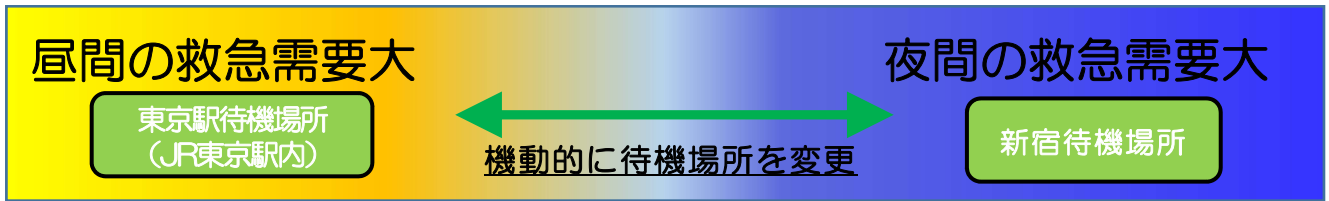
運用開始式の写真をご希望の社は、広報課報道係までお問合せ下さい。

問合せ先

東京消防庁(代)	電話 3212-2111
救急指導課	内線 4582,4300
企画課計画係	内線 2142,2149
広報課報道係	内線 2342,2345

救急機動部隊拡充の概要

1 救急機動部隊の運用イメージ（現行）



昼間：JR東京駅内に待機して付近の救急要請に対応
夜間：新宿待機場所に待機して付近の救急要請に対応

2 拡充後の救急機動部隊の運用イメージ



昼間：JR東京駅内に待機して付近の救急要請に対応
拡充 消防技術安全所内に待機して付近の救急要請に対応
夜間：新宿待機場所に待機して付近の救急要請に対応
拡充 六本木待機場所に待機して付近の救急要請に対応

